

行政報告

《3月定例議会》

平成19年3月定例議会は、3月6日から23日までの会期で開かれています。議会初日には、市長の施政方針、行政報告提出議案についての大綱質疑が行われ、14・15日の2日間にわたって一般質問、16・19・20日は各常任委員会で付託議案等を審議し、23日に委員長報告、質疑、討論、採決が行われる予定です。

今号と次号の2回にわたって、3月定例議会の行政報告についてお知らせします。なお、施政方針については、予算の概要とともに4月1日号に掲載を予定しています。

総務部関係

【総務課】
2月8日、年々滞納額が増加する市の納入金の滞納額縮減対策として、助役を本部長とする「北秋田市市税等収納対策会議」が本部員27名をもつて設置されました。

【職員課】
平成18年度の職員の退職者は、年度途中の退職者4名を含め34名を予定しています。

【税務課】
1月末現在の平成18年度各市税の課税状況は、個人市民税が納税義務者1万7225

人、調定額8億5034万9千円（対当初185人増、1562万7千円増）となっており、修正申告によるものが主な理由となっています。

また、固定資産税は納税義務者1万7441人、調定額15億1156万9千円（対当初1人増、2119万8千円減）となっており、秋田内陸縦貫鉄道の課税免除（課税額1718万8千円）や生活保護等による減免が主な理由となっています。

企画部関係

【総合政策課】
秋田内陸線の乗車運動の一貫として鷹巣町商工会青年部が企画した米代児童公園（鷹巣地区）内の蒸気機関車へのイルミネーションの飾り付けや看板設置に対し、その費用の一部を助成し、道行く市民に「乗ろう・残そう内陸線」を呼びかけました。

市交流センター内に設置されている男女共同参画拠点施設の愛称を公募したところ7点の応募があり、「ハートフ

ルプラザ・北秋田」と決定しました。

機構改革については、12月26日、第6回組織機構改革推進検討委員会を開催し、平成22年4月の組織機構のあり方などについて、また、1月29

日の第7回検討委員会では、今年4月の組織機構について協議しています。

【財政課】
11月25日以降の工事等発注状況は500万円以上が21件で、3億8826万8千円です。

市民生活部関係

【生活環境課】
2月21日、北秋田市交流センターで第2回国民保護協議会を開催し、第1回協議会で出された意見や、県総合防災課との事前協議で示された付帯意見を踏まえて素案を修正した「市国民保護計画」最終案を提示し、審議しています。

「市国民保護計画」は現在、意見・要望等を集約し県と協議を進めていますので、結果が次第、再度答申に係る審議をし、答申後は県知事との法定協議を行い、議会に報告するとともに公表します。

新しいごみ袋は試作品の検査を経て、販売は6月1日からを予定しています。

【医療推進課】
市民病院建設の実施設計作成業務委託契約を昨年11月28日に締結し、19年6月28日までの工期で現在作業が進められています。4月から二次造成工事、その後9月

に予定されている本体工事へと順次作業を進めていきます。

2月5日、秋田県医療審議会が開催され病院の病床数について同意を得ています。今後、県が厚生労働省へ承認申請を提出し、承認を受けた後に開設許可申請書の作成業務に入ります。

【保険課】
秋田県内の国民健康保険医療費の確定数値が県から公表され、平成17年度医療給付の1人当たりの状況は一般が25万7430円、退職が37万6858円、老人が69万7531円となっています。

【保健センター】
1月末現在の各種成人検診受診状況は、集団、医療機関及びドックの3方式を合わせ、基本健康診査5666名、胸部総合検診4854名、胃がん検診2719名、大腸がん検診4122名、前立腺がん検診1385名、子宮頸がん

ん・卵巣腫瘍検診801名、乳がん検診761名、骨粗しょう症検診566名、肝炎ウイルス検診661名、歯周疾患検診11名となっています。

肺炎球菌ワクチン予防接種は、5月1日から12月末までを実施期間として163名、インフルエンザ定期予防接種は、10月15日から1月末までを実施期間として6140名がそれぞれ接種を受け、費用の一部を公費助成しました。

母子保健事業は、乳幼児健康診、健康相談等の実施とともに、よりよい食習慣の基礎づく

くりと生活習慣病予防を目的とした食育学習会を12回にわたり実施しました。

「けんこう北秋田21計画」の策定は、市民の健康基礎調査をもとに、2月7日、委員13名で構成する第1回分析検討委員会を市保健センターで開催しました。

【市民課】

19年1月末日現在の住民登録者数は3万9930人、世帯数は1万4852世帯で、昨年同期と比べ、人口で661人、世帯数で20世帯がそれぞれ減少しています。

福祉事務所関係

【福祉課】

竜森へき地保育園は、園児の減少に伴い、本年度末をもって廃止する条例を今議会に提案しています。

平成19年度の学童保育については、本年度同様、市内14箇所の児童クラブで就労家庭児童の安全・安心対策として実施を予定しておりますが、現在420人の申し込みがあり3月上旬に入所決定を行う予定となっています。

障害者自立支援法の施行に伴い、昨年10月から実施している地域生活支援事業については、これまでにコミュニケーション支援事業3人、移動

支援事業9人、訪問入浴事業3人、日中一時支援事業23人がそれぞれ利用しています。

障害者計画・障害福祉計画の策定は、これまで5回の策定委員会を開催しました。年度内に策定業務を終了し、今後の障害福祉施策・事業に関する指針として、着実に推進できるよう努めています。

4月開設を予定している障害者生活支援センターは、指定管理者選定委員会での指定管理候補者を選定し、今議会に指定議案を提案しています。

【高齢者支援課】
昨年4月から「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対

産業部関係

【商工観光課】

昨シーズンの阿仁スキー場の2月の営業は26日間で、6121人が訪れましたが、今シーズンは2月19日現在4万3640人が訪れています。

また、樹氷まつりは2月19日現在、昨シーズンより約600人多い2074人が訪れています。

市内中小企業者の金融対策としての中小企業振興資金（マル北融資）の利用状況は、1月末現在で47件、2億9144万円（前年同期37件、1億7716万円）となっています。

1月10日、大阪市内を会場に、県知事及び市町村長が企業誘致PRを図るため秋田県企業誘致推進協議会が主催する、「あきたリッチセミナー in OSAKA」が開催されました。関西企業関係者80名が参加する中、北秋田市の特色を前面に押し出してPR活動を展開しました。

【農林課】

19年度からスタートする国の農業政策に対応した集落営農組織等は、三木田集落営農組合（合川地区、平成18年12月15日設立総会）を皮切りに順次立ち上がっており、2月20日現在で鷹巣地区7、合川地区14、森吉地区7、阿仁地区1組織が設立されています。

災害復旧事業は、平成18年7・8月の活発な梅雨前線の影響による豪雨災害（農地11箇所、農業施設18箇所）の復旧工事を発注しており、年度内完成予定となっています。

